言語聴覚療法学科

教育目的

言語聴覚療法に関する知識及び技術を教授し，
良識ある人格の形成に努めると共に，地域社会に貢献し得る有能な人材を育成する

学年別到達目標

	目　　的	目　　標	指導方針
一学年	1. 医療・福祉・教育に携わる者としてふさわしい生活態度（自主性・奉仕の精神）を身につける	1) 自己管理（健康・生活）ができる 2) 適切なコミュニケーション能力を身につける	・礼法・協調性・容儀などについて適切に指導する ・クラスの月間目標を掲げ，常に認識させる ・目配り，心配り，気配りができるように指導する
	2. 主体的な学習態度を身につける	1) 適切な学習習慣・学習方法を身につける 2) 言語聴覚療法の全体像を知り専門職としての基本的態度を身につける	・学習習慣を身につけるよう指導する ・気軽に相談できる環境を設ける ・文章指導を行う
	3. 基礎分野の学習を通し言語聴覚士になるための基礎的な知識を学ぶ	1) 医療・福祉・教育分野の学問に対して，興味や研究心を持って学習できる 言語聴覚療法の全体像を知り，専門 2) 職としての基本的態度を身につける	・リメディアル教育の実施 ・縦割り班の先輩（既卒含む）から現場の言語聴覚士について学ぶ ・レポートや質疑応答にて学生の学習進度を把握する
二学年	1. 医学，心理学，その他の専門基礎分野を習得することにより，人間理解を深め，さらに専門分野学習へ向けての基礎を築く	1) 今までの知識を整理することができる 基礎医学の知識を用いて，言語聴覚 2) 療法分野の教科学習を拡大することができる 予習の徹底	・知識の詰め込みにならぬよう，創造，経験，思考ができるように指導を行う ・学習面や生活面における指導を徹底する ・県内外の学術集会等へ参加を促す
	2. 医療や福祉，教育の現場で必要な技能を身につける	1) 適切な報告・連絡・相談ができうるようになる 2) 適切な形式でレポートを作成することができる 3) 実習に向けての態度を身につける	・チームアプローチや自己主張（グループワークやレジメ発表）の機会を多く提供する ・適切なレポート形式を教授する ・社会人としての言動を指導する
三学年	1. 言語聴覚士の対象としている様々な障害を理解し，評価を実践できる能力を養う	1) コミュニケーション障害について的確に説明できる 2) 指導者のもと対象者の全体像を把握し，適切な評価を行うことができる 医療面接ができる 3) テーマに基づき論文を作成することが 4) できる	・言語聴覚療法を行う上で必要な知識や技術を身につけられるよう指導する ・検査や訓練の目的を把握した上で，検査の練習を徹底させる ・探究心の拡大を目指す
	2. 職業人としての認識に基づいて行動できる能力を養う	1) リハビリテーションチームの一員としての役割を学ぶ 2) 報告・連絡・相談に基づいた行動を心がける	・縦割り班における運営を、メンバーと協議しながら活動できるように指導する
四学年	1. 職業人としての認識に基づいて行動できる能力を有し，言語聴覚障害児・者に対し適切な訓練・指導を実践する能力を身につける	1) 相手を思いやる行動の遵守 2) 責任ある言動の遵守 3) 対象者の障害を適切に把握し何をすべきかを実習指導者の指導のもと選択できる	・実習において改善すべき箇所や達成できていないことを確認し細かい指導を行う
	2. 言語聴覚障害児・者のために，自己啓発の姿勢を生涯にわたって持ち続ける	1) 国家試験への取り組み,実習における積極的で社会性に富んだ行動をとることができる 2) 研究の実施および論文の作成ができる	・国家資格の取得だけでなく，言語聴覚士として社会貢献できる人材を育成する